

組合員の違反行為にともなう連帯責任で、全體が割引停止となる可能性がある。ただ、「自分のところの組合員に、どれだけの違反点数が溜まっているかを、いかに早い段階でつかめるかが生死を分ける」と兵庫県の協組幹部。ペナルティーが強化された

違反通達に2か月、自動検知なら4か月

では現在、おのずと高速道路の利用量が増えている。各地の協組も取扱高が右上がりで堅調に推移しているが、見方を変えれば万一の連帯責任の場合には負担金違反。なかには過

額も比例して大きくなるということ。軸重や長さ、高さなど

トレーラの違反に加え、最近になって自立つのが単車（大型トラック）の総重量

積載ではないのに

「25・1ト（100キロ超過）で捕まつた」（岡山県の運送会社）という例もあり、関係者らを当惑させている。

（長尾和仁）

組合員の違反行為にともなう連帯責任で、全體が割引停止となる可能性がある。ただ、「自分のところの組合員に、どれだけの違反点数が溜まっているかを、いかに早い段階でつかめるかが生死を分ける」と兵庫県の協組幹部。ペナルティーが強化された

組合員の違反行為にともなう連帯責任で、全體が割引停止となる可能性がある。ただ、「自分のところの組合員に、どれだけの違反点数が溜まっているかを、いかに早い段階でつかめるかが生死を分ける」と兵庫県の協組幹部。ペナルティーが強化された

組合員が講習会に呼び出される事態になつて初めて違反を知る格好で、3か月刻みでリセットされることが、たゞ1回の違反点数は知らないまま消えていくという。「反状況を所属協組宛

点数把握が生死分ける

組合員の違反行為にともなう連帯責任で、全體が割引停止となる可能性がある。ただ、「自分のところの組合員に、どれだけの違反点数が溜まっているかを、いかに早い段階でつかめるかが生死を分ける」と兵庫県の協組幹部。ペナルティーが強化された

組合員が講習会に呼び出される事態になつて初めて違反を知る格好で、3か月刻みでリセットされることが、たゞ1回の違反点数は知らないまま消えていくという。「反状況を所属協組宛

動検知システムを通じた場合は4か月ほどして組合に伝わってくる状況で、違反事実の把握まで

2月から変更その場で通知

また、2月からは取り締まりで違反を現認した場合、その

長時間労働の対策として手段が限られるトラック運送事業

車限令違反の累積点

タイムラグ解消なるか

それまで3か月でリセットされていた違反点数の累積期間が2年間へ一気に延びるなど、昨年4月から始まった「車両制限令の違反60点に近づくトラック事業者もともなう大口・多頻度割引のペナルティー強化」。割引停止などで散見されるが、その先に待つ連帯責任を避けるために高速事業を手掛ける協同組合の関係者は累積点数の早期かつ、確実な把握に腐心しており、道路会社も「違反抑止に向けた指導強化の一助」として始めた点数通知のタイミングを早めるなどルールを改正。ただ、ある協組幹部は「想定外だった大型トラックの違反が増えており、少しのタイムラグでも危険はある」と指摘する。

車両制限令違反者が所属する組事務局に通知。今後は10月からは同意書を不要としたうえで組合員が車両令に違反し、一定の点数が付された場合には、協約者である協組に通知する」という形で各組合員が抱える違反点数の早期把握に神経を尖らせ、道路会社も同意書を得た組合員の違反情報を観点で、組合員から事前に同意書を得る必要があるとされてきたが、道

路会社は1月末付で運用方法の変更を開始した。ただ、「ドライバーが現場で取り締まりに遭った場合は2か月後、自

てに通知する制度を開始した。ただし、運用方法の変更を協組事務局に通知。今後は10月からは同意書を不要としたうえで組合員が車両令に違反し、一定の点数が付された場合には、協約者である協組に通知する」という形で各組合員が抱える違反点数の早期把握に神経を尖らせ、道路会社も同意書を得た組合員の違反情報を観点で、組合員から事前に同意書を得る必要があるとされてきたが、道

り締まりの現場で手渡された警告書をそのまま放っていたり、会社へも報告しないドライバーが多い。「一方では「会社が協組へ迅速に連絡してくれなければ何の意味もない」として、協組内の取り決めを整備する必要を指摘する関係者もある。

長時間労働の対策として手段が限られるトラック運送事業

＜実施予定：平成30年2月＞
道路会社からの文書